

INTEGRA-7 Sound Editor



<概要>

本ソフトは、Roland Integra-7 をリモート操作し、音色を作成出来るメーカー非公認エディタソフトです。MIDI で操作出来るパラメータ全てを網羅しています。パラメータは基本的に Integra-7 の画面の順番通りに並んでおり、狭い画面で操作するよりも効率よく音色作成が出来ます。

ホイール付きマウスのホイールをジョグダイアルの代わりに利用し、マウスカーソルをパラメータに乗せ、ホイールを回すことによりパラメータを操作出来ます。

<動作環境>

メモリー：OS 動作に必要なメモリー容量に加えて本アプリケーション用に 1GB

グラフィックス：DirectX 9 とピクセルシェーダ 2.0 が動作する CPU またはビデオカード

ディスプレイ：解像度 1366 x 768 以上

OS: Windows XP SP3、Vista SP2、7 SP1、8.x 10 (32bit/64bit 両対応)

必須コンポーネント:

- ・ XP の場合 .NET Framework 4.0 Client Profile

- ・ Vista の場合 .NET Framework 4.6

- ・ 7 以降の場合 .NET Framework 4.6.1

.NET Framework 4.6.1 Web インストーラ（ネット接続が必要）

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=49981>

- ・ メイリオフォント（XP のみ必要）

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=10550>

※ 正規品チェックが必要です。

<http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows/help/genuine/what-is-validation>

＜Integra-7 と PC の接続＞

基本的に USB ケーブルで接続し、「INTEGRA-7 CTRL」で通信する事をオススメしますが、

MIDI インターフェイス機器を通して MIDI ケーブル経由でも通信可能です。

その場合は MIDI ケーブル 2 本を使い、PC 側 MIDIOUT を INTEGRA-7 の MIDIIN、PC 側

MIDIIN を Integra-7 の MIDIOUT に相互接続します。

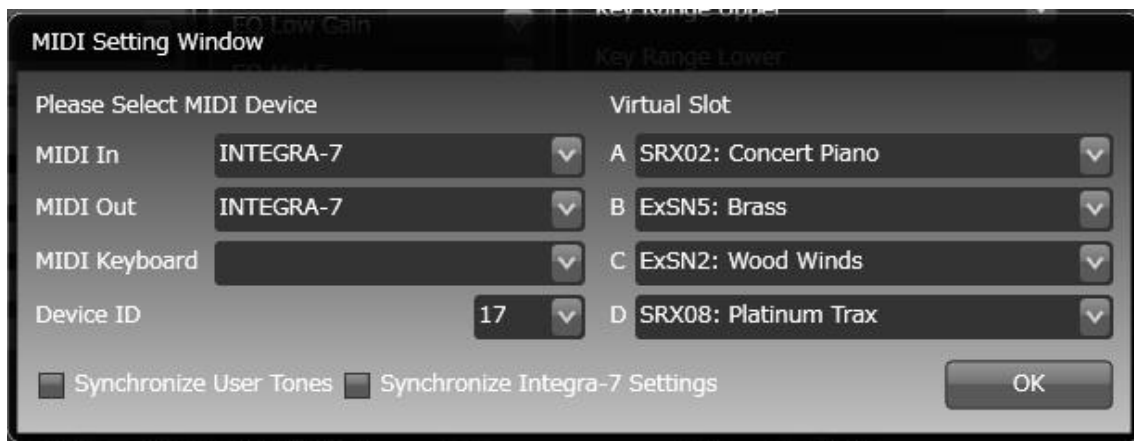
MIDI キーボードは USB または MIDI インターフェイス機器を通して MIDI ケーブル経由で

接続します。キーボードの演奏情報は本ソフトを経由して Integra-7 へ伝わります。

＜ソフトウェア起動時の MIDI とバーチャルスロットの設定＞

MIDI IN、MIDI Out、MIDI Keyboard、デバイス ID（初期値は 17）および読み込むバーチャルスロット A～D を選択します。**バーチャルスロット設定と INTEGRA-7 で読み込んだバーチャルスロットが一致しないと誤動作してしまうので気をつけてください。**

USB 接続の場合 INTEGRA-7 CTRL > INTEGRA-7 > その他という優先順位で選択されます。USB Driver は「VENDER (MIDI+AUDIO)」をオススメします。



Synchronize User Tones にチェックを付けるとユーザー音色名を同期します。

Synchronize Integra-7 Settings にチェックを付けると、Integra-7 の現在の Studio Set が本エディタに反映されます。

チェックが外れていると前回終了時の設定になります。

OK をクリックすると、進行ゲージが表示され、Integra-7 と同期を開始します。

この画面は Tool> 「MIDI & Virtual Slot Setting」 で呼び出せます。

<基本操作>

パラメータのコンボボックスやスライダーにマウスカーソルを乗せると操作対象となるの

で、ホイールを回すと、数値が上下します。

普通にクリックして、数値を選択したり、矢印キーでも操作可能です。

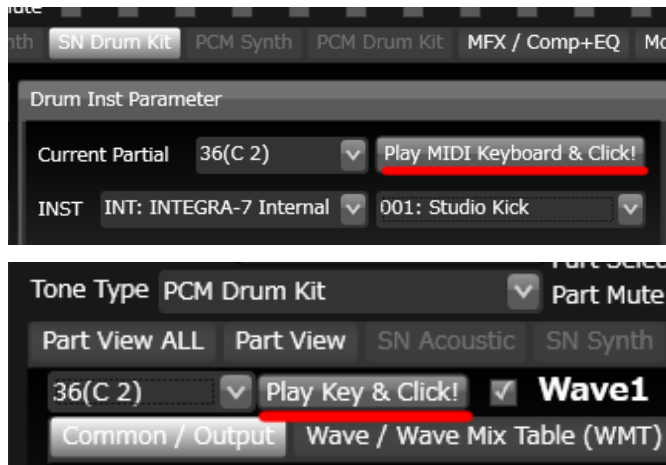
コンボボックス上でテンキー入力することも出来ます。

ドラムキットの鍵盤は MIDI キーボードを使って選べます。

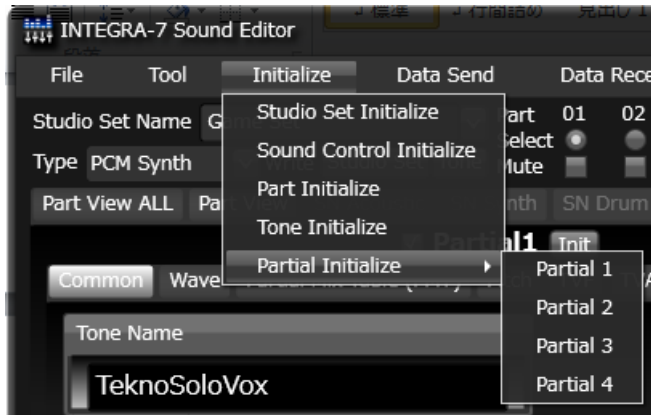
まず、MIDI キーボードでエディットしたい鍵盤を演奏します。

その後、「Play MIDI Keyboard & Click!」というボタンをクリックすると、Current Partial

が押した鍵盤に切り替わります。



<初期化機能>

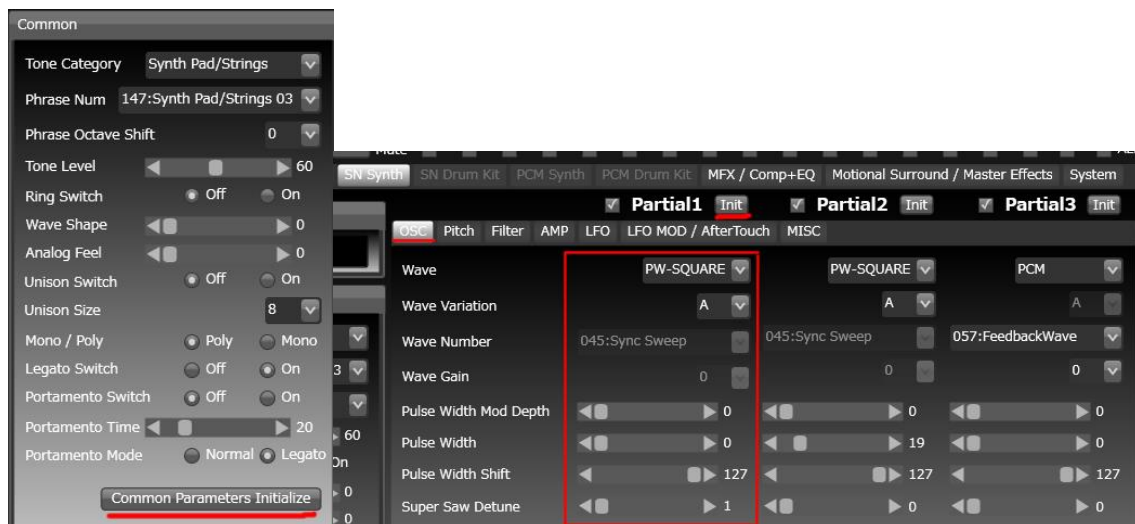


メニューの Initialize から初期化処理を行えます。

スタジオセット、サウンドコントロール(全 Part パラメータ Offset 部分だけ初期化)、

パート、パーシャル (SN-S と PCM-S) 単位で初期化します。

パートセレクトで選ばれているパートが対象となります。



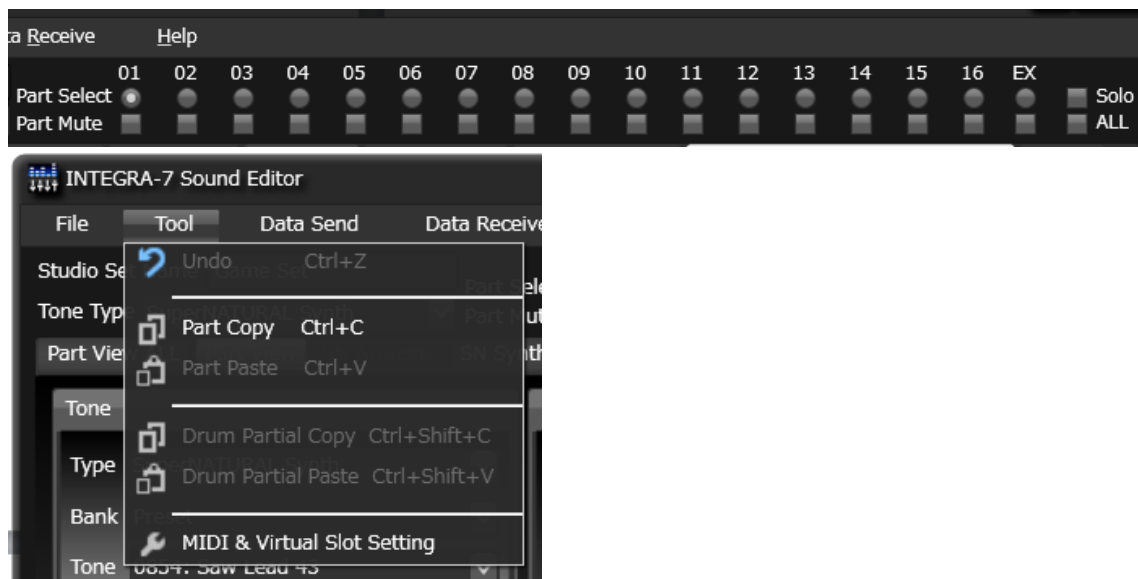
パラメータの所にある Initialize ボタンや「Partial」の文字の横にある Init ボタンで部分初

期化が出来ます。対象は選ばれたタブのパーシャル分となります。

<コピー機能>

Tool の Copy、Paste でパートの設定をコピー出来ます。コピーしたいパートを選択した状態で Tool の Copy、または Ctrl+C でコピーします。コピーしたいパートを選択し、Tool の Paste をクリック、または Ctrl+V で貼り付けます。直ちに Integra-7 にデータが送信されます。コピーしたパート番号は次にコピーを実行するまで覚えているので、連続で貼り付け出来ます。例えば、4 パートのレイヤーサウンドを作るといった場合に便利です。

※ パートセレクトはこの部分で行います。

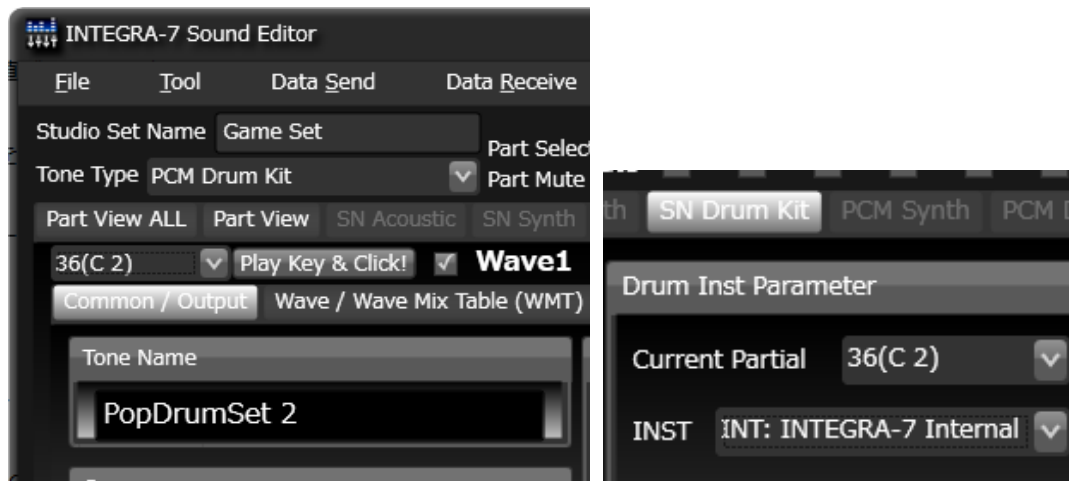


間違えて貼り付けてしまったときは 1 回だけアンドウ（元に戻す）が可能です。Undo をクリックするか Ctrl+Z で戻ります。1 回しか戻せないなので、大幅に変更する場合はファイルセーブしてから実行することをオススメします。

ドラムパート（Super Natulral Drum Kit か PCM Drum Kit）をコピーすると、ドラム設定全てをそのまま、他のパートにコピーすることが出来ます。（SND は 62 鍵盤、PCMD は 88 鍵盤分）

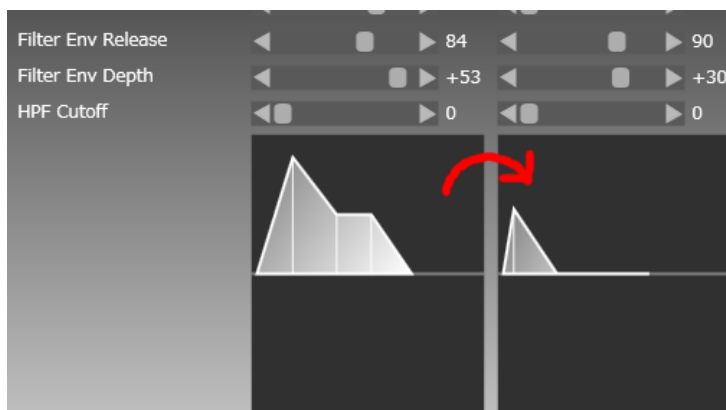
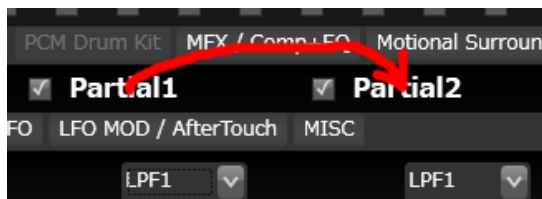
1 鍵盤分のデータを他の鍵盤にコピーしたい場合は Drum Partial Copy (Ctrl+Shift+C) と Drum Partial Paste (Ctrl+Shift+V) を使います。

コピーしたい鍵盤（Current Partial）を選び、Drum Partial Copy (Ctrl+Shift+C) でコピーし、コピーしたい他の鍵盤を選択して Drum Partial Paste (Ctrl+Shift+V) で貼り付けます。こちらも同様に連続コピーが可能です。コピー動作は 1 回分だけアンドゥ機能で戻せます。

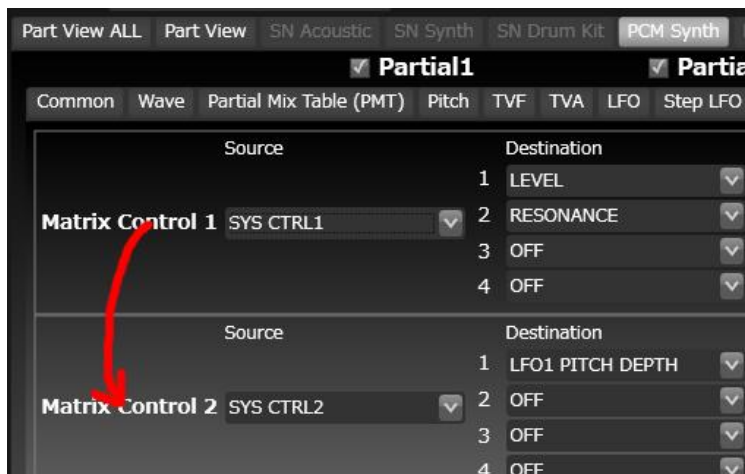


Super Natural シンセサイザーや PCM シンセの場合、パーシャル間コピーが可能です。

エンベロープのグラフ表示、またはパーシャルスイッチ横の「Partial1」や「Wave」といったテキストを左クリックでドラッグし、コピーしたいパーシャルにドロップすると設定がコピーされます。このコピーも一回だけアンドゥ出来ます。



PCM シンセのコントロールマトリックスは「Matrix Control」のテキストをドラッグアンドドロップでコピーできます。

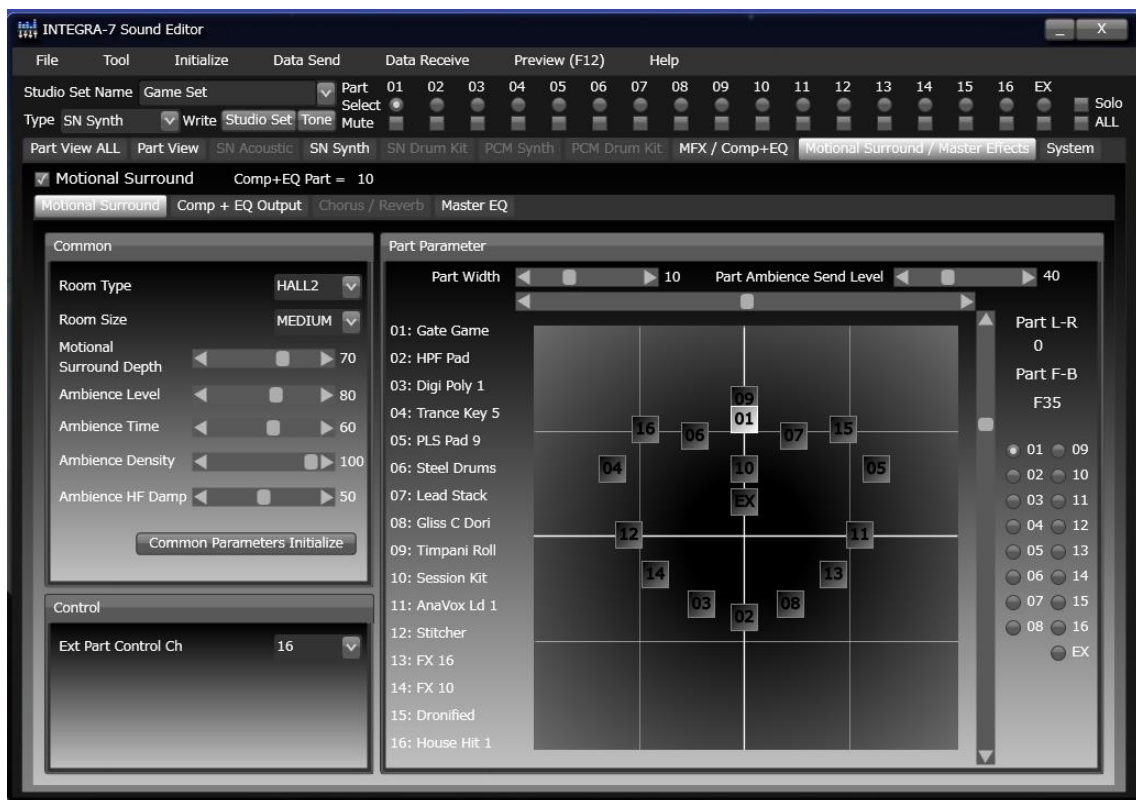


Partial Select の番号をチェックすると、チェックしたパーシャルのパラメータが同時に編集できます。



Motional Surround 機能を有効にすると各パートの音声の位置をマウスで操作出来ます。

動かしたいパートを右側から選び、グラフ上で操作してください。



<設定初期化とファイルのセーブロード>

New をクリックすると初期化されます。全パートが SuperNatural アコースティックの初期状態になります。実行前に保存するか聞いてきます。

Open をクリックするとファイル選択ダイアログが起動するので、セーブデータを選んでロードします。(拡張子 i7s) ロードが完了すると、直ちに Integra-7 と同期します。

Save は上書き保存です。

Save As は名前を付けて保存です。デフォルトのファイル名は StudioSet の名前になりますが、好きな名前を付けて保存してください。

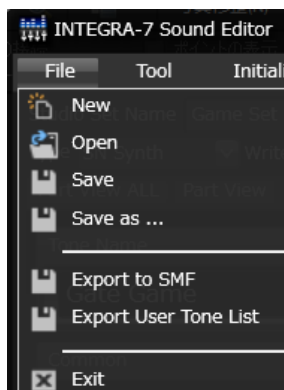
Export to SMF は Standard MIDI File に全設定をエクスポートします。

Format 1 で保存されており、Windows 以外のユーザーに渡したり、シーケンサーに読み込ませたりして使用できます。

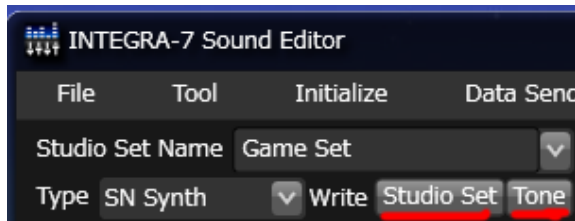
Export User Tone List は音色一覧をカンマ区切り CSV ファイルとして出力します。

Exit でアプリケーションの終了です。右上の「X」ボタンと同じです。

もし、データに変更があった場合はセーブするか聞いてきます。



＜Studio Set や Tone の Integra-7 への保存＞



「Write」の横にある Studio Set ボタンを押すと、現在の Studio Set の内容を Integra-7

本体のユーザー領域に保存できます。(64 個)

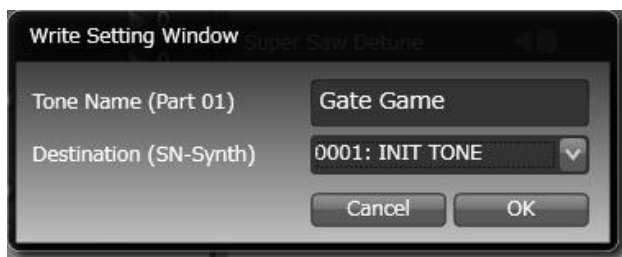


StudioSet の名前（最大 16 文字）を入力し、保存先を選択してください。

「Write」の横にある Studio Set ボタンを押すと、トーンを保存できます。

パートセレクトで選ばれているトーンが対象です。

トーンの名前（最大 12 文字）を入力して、保存先を選択してください。



※ 名前は変な文字入れないでください！